

～小さな発見が生まれる～ 下線部は小さな発見を豊かな経験につなぐ教師の援助

1 学期の姿

栽培していた野菜の収穫後、残った茎を抜き、プランターの後始末をした。プランターの周りに落ちた葉や根を初めは手で拾って集めていたが、教師がホウキや熊手があることを知らせると、早速それらを使って葉や根を集め始めた。

【小さな発見】

・道具を使うことで、手で拾って集めるより早く多くの量を集められることを、体験を通して実感した。

～豊かな経験へ～経験の広がり

1 2月下旬：ホウキや熊手を使って、落ち葉を集める

登園前に、教師が園庭の落ち葉を一か所に集めておいた。A児・B児・C児が落ち葉に気づき、嬉しそうにその上を歩き始めた。教師が「落ち葉、全部集めたらどうなるかな。」と言うと、A児が「あれを使おう！」と言い、教師と一緒に取りに行ったホウキと熊手で落ち葉を集め始めた。落ち葉の山が高くなると上に乗ったり舞い上がらせたりし、山が低くなると再び落ち葉を集め、その場で遊ぶことを繰り返し楽しんでいった。

【小さな発見】

・落ち葉の上を歩いてみて、感触を楽しんだ。
・教師の言葉を聞いて、全部の落ち葉を集めた後のことを想像し、集めることへの意欲が高まった。

【豊かな経験】

・ホウキや熊手を使って葉や根を集めた経験を思い出し、自分たちで用具を使った。
・上に乗ったり舞い上がらせたりして、落ち葉の感触を楽しみ、親しんだ。



～豊かな経験へ～経験の深まりと経験の広がり

1 月下旬：熊手などを使って、池をきれいにする

園庭のわくわく池に氷が張っていた。触ったり手に持ったりして、氷ができたことを喜ぶ幼児が多かった。

翌日も氷ができていのか期待して池に向かったが、氷はできていなかった。前日欠席していたA児に他の幼児が、「昨日、氷ができていたんだよ！」「氷の中にカエデが入っていたんだ。」と氷ができていたときの様子を教えていた。A児は、「池が全部氷になったらどうなるかな。」「葉っぱがなかったら、ツルツルのスケート場みたいになるんじゃない？」とワクワクした様子で言い、教師は「面白そうだね。」とA児の想像を受け止めた。A児の言葉を聞いたB児・D児・E児・F児が集まってきて、一緒に池の中の落ち葉を取ることにした。A児はすぐに熊手が必要だと教師に伝え、みんなで一緒に熊手を取りに行った。その後、A児とB児が熊手を持って葉や藻をすくい始め、B児・E児・F児は熊手以外に葉をすくえるものがないか探しに行き、細い木の枝を手に戻ってきた。F児が枝ですくったりはさんだりして、葉や藻を取ることに成功した。教師は、自分なりに考え試してみたF児の姿を認めた。そして、F児の様子を見ていたA児とB児を誘い、熊手以外に使えるものがないか一緒に探しに行くと、虫取り網を発見した。A児とB児は、それを使って葉や藻を取り始めた。その後は、虫取り網、熊手、木の枝を交換しながら、葉や藻を取ることを楽しんでいた。池がきれいになると、集めた落ち葉を拾ってゴミ袋に入れ、虫取り網や熊手は水道できれいに洗った。満足気な様子で、「明日氷できるかな。」と言っていた。

【豊かな経験】

・A児は、落ち葉を熊手で集めた経験から、今回も熊手が必要と考え、使った。

【豊かな経験】

・F児は熊手以外の方法を考え、木の枝を使うことを思いついた。試行錯誤した結果、葉や藻が多く取れた。
・F児の姿を傍で見たりF児を認める教師の言葉を聞いたりしたことで、F児の経験が他の幼児にも共有された。A児、B児がいろいろなものを使って池をきれいにするという目的を達成しようとする姿につながった。



【豊かな経験】

・前日にA児が葉や藻取れば氷ができると予想したことが他の幼児にとっても共有の目的となり、試行錯誤につながった。
・2日目に池に張った氷を見て、自分たちの予想通り目的が達成されたと考え、喜びを分かち合った。

2 日目：氷ができていた

A児は登園後、早速池の様子を見に行ったら、最初に想像していたように、池一面に氷が張っていたわけではなかったが、表面がきれいな氷ができていた。前日に葉や藻を集めていた幼児たちは、みんなで氷ができたことを喜んでいて、A児は、「ぼくのおかげで氷ができた！」と誇らしげに言っていた。

【幼児の小さな発見を豊かな経験につなぐ過程で必要な教師の援助】

○教師が幼児と共に園生活の中で用具を使う機会をつくることで、次第に幼児自身が考え、用具を使いこなせるようになる。

・これまで様々な場面で楽しみながらホウキや熊手などの用具を使っていたことで、別の場面でもすぐに熊手を使うという考えが、幼児から出た。園生活の様々な場面で、教師が幼児と共に場面に応じた用具を使い、扱い方を知らせることで、次第に幼児自身が必要な場面を考えながら使いこなしていけるようになる。

○教師が幼児の考えを受け止め一緒に面白がったり、十分な時間を保障したりすることで、幼児が諦めず試行錯誤する姿につながる。

・「スケート場になるかもしれない。」というA児の考えを受け止め、一緒に想像を膨らませたり面白がったりすることで、友達にも自分の考えを発信したり、目的に向けて探究したりする姿につながった。また、それぞれの幼児がそれぞれのやり方で心ゆくまで試せる時間を保障したことが、自分なりに考えたり試したりする姿につながり、豊かな経験となった。

・葉や藻を取ったことと氷ができたことの因果関係は不明だが、自分たちが想像し試して実際に氷ができたことが、幼児の「成功した。」という満足感につながった。